

Let's 防災



能登半島地震で見えてきたこと

- ・断水による水の確保やトイレ不足が課題に
- ・地域での助け合いの大切さを改めて認識

災害発生時、自分や家族の安全を守るため、一人ひとりが災害に備えた日常品の備蓄を進めるとともに、防災訓練に参加するなど地域での防災力も高ましましょう。

調布市総合防災安全課

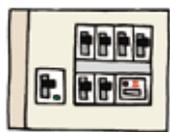
お問合せ：042-481-7346

一人ひとりが自ら取り組む 〈自助〉の取組事例

家具転倒防止



感震ブレーカー



3日分の備蓄



～実際に自助の力が発揮された事例～

- ・家具転倒防止対策で家具による下敷きを防ぐことができた。
- ・備蓄をしていたので災害時に慌てずに過ごすことができた。

東京備蓄ナビ

各家庭に合わせた備蓄目安を計算できます。

地域で一緒に取り組む 〈共助〉の取組事例

避難所運営



人命救助



地域での
助け合い



～実際に自助の力が発揮された事例～

能登半島でも発揮

- ・避難所にて、地域の方がリーダーとなって被災者の調整を行い、掃除や消毒作業など、避難所の運営を行った。
- ・阪神・淡路大震災では、倒壊した建物から救助された方の約8割が、地域住民等による救助であった。
- ・町内会の役員による見回り・情報伝達・物資の支給、隣近所からの物資の支援等を受け、マンションでの在宅避難を継続することができた。

使用方法と備蓄目安

トイレ

携帯トイレ

携帯トイレは、既存の便器に設置し、電気や水がなくとも使用することができます。



1家族で

必要な数は？

1日5回 × 3日分 × 家族の人数 人 = 枚

1個あたり20枚入りなので、必要な個数は、 個

水

ウォータータンク

ウォータータンクは、都度必要な分を蛇口から使用できます。市の給水拠点まで水を取りに行ってください。



1家族で

必要な数は？

1日3ℓ × 3日分 × 家族の人数 人 = ℓ

1個あたり10ℓ入りなので、必要な個数は、 個

携帯トイレやウォータータンクはホームセンターなどでも購入できます。各家庭に必要な数量を備えましょう。また、地域で備蓄することも共助の取組として効果的です。

給水拠点など

